

1. 次期最終処分場の最終候補地選出の経過

建設候補地の選定

平成 28 年度は石巻市一般廃棄物最終処分場建設候補地選定条件検討委員会において必要面積条件と法規制等の観点から建設可能な候補地を 18 箇所選定し、平成 29 年度は石巻市一般廃棄物最終処分場建設候補地選定委員会幹事会の第 1 次選定で 10 箇所に、第 2 次選定で 3 箇所を選定しました。〈候補地：No.1 山田地区、No.2 横川地区、No.3 南境地区〉

2. 選定委員会での評価方法

石巻市一般廃棄物最終処分場建設候補地選定委員会においては 15 名の委員による現地踏査を実施し、評価項目の生活環境、周辺環境（自然環境、地形・地質）、安全性、経済性、及び社会的要因に基づき選出された 3 候補地の経緯を踏まえた上で評価方法の方針を検討し、項目ごとに評価しました。

評価項目（47 項目）

【生活環境】

既存資料や現地で確認できる範囲については、これまでの委員会で一定の評価がされていることから、選定評価としては、地元説明会やこれまでの土地利用の経過情報等を取りまとめ評価しました。

1-1 生活環境		
1	地元の水道(地下水) 環境に対する評価	①生活水源の状況について
		②水道管の敷設整備状況について
		③地下水の水質協定に有無について
		④施設整備後の地下水環境への影響について
2	地元の生活環境(道路状況) に対する評価	⑤現状の生活環境について
3	地元のこれまでの地歴と合意形成に対する評価	⑥これまでの地歴について
		⑦合意形成に対する地元の意向について
4	地元の持っている計画全体に対する安全性についての評価	⑧計画の安全性に関する地元の意向について
		⑨環境面の安全性に関する地元の意向について
5	用地買収に対する地元意向についての評価	⑩用地買収に関する地元の意向について
6	世帯数についての評価 (本市の大字毎の平均は 39 世帯である)	⑪世帯数について
7	広域的な生活環境に対する評価	⑫生活環境への広域的な影響度合について
		⑬浸出水の放流による影響について
		⑭公共施設の有無について
8	景観(視認性) に対する評価	⑮施設整備の景観について
9	自然環境の変化に対する評価	⑯動植物の影響について
10	生活環境の変化に対する評価	⑰これまでの生活環境について (生活環境が縮小し、既存インフラが利活用し易いなど)

【周辺環境】

周辺環境としては、既存資料等の評価に加え、現地踏査を実施することで、より具体的な状況把握ができたことから、それら进行评估しました。

2-1 自然環境		
1	施設整備における自然環境の影響度合いに対する評価	①広域的な動植物の影響について
		②現状の振動・騒音について
		③広域的な自然環境の影響について
		④事業に重大な影響を及ぼす重要種や希少種の存在可能性について
		⑤溪流に生息する生物等について
2-2 地形・地質		
2	施設整備における地形・地質に対する評価	⑥現地調査における地質状況について
		⑦施設整備における地すべり等について
		⑧施設整備における法面对策工について
		⑨施設整備における湧水対策工について
		⑩施設整備における補足調査の必要性について

【安全性】

これまでの選定評価では、比較的広範囲な地形等から得られる情報を基に安全性の評価をしましたが、ここでは新たに作成した概略計画図を基に施設計画における安全性を評価しました。

3-1 安全性		
1	主要安全対策工に対する評価	①集水面積の広さについて
		②施設整備における雨水対策について
		③施設性における法面对策工について
		④施設整備（道路、水路等）における雨水排水対策について
		⑤維持管理における埋立方法について
2	関係機関協議に対する評価	⑥林地開発協議の課題について
		⑦砂防指定地域協議の可否について
		⑧河川協議の可否について

【経済性】

安全性同様に、現地踏査等の情報に基づき新たに作成した概略計画における埋立地本体や搬入道路の工事費、維持管理費を算定し、評価しました。

4-1 経済性		
1	経済性に関する評価	①建設工事費の経済性について
		②建設工事における建設残土発生量について
		③施設整備における付帯工事について
		④施設整備における追加工事について
		⑤今後の設計条件に影響する項目について
		⑥維持管理費について

【社会的要因】

現地踏査等の情報に基づき新たに作成した概略計画が抵触する土地の登記簿情報を基に用地取得の難易度として整理し、評価しました。

5-1 用地取得（公図情報）		
1	登記簿、公図に関する評価	①国土調査の実施について
		②計画地内の筆数について
		③共有林の数について
		④共有林の地権者数について
		⑤道路、水路の取り扱いについて
		⑥公図情報の留意点について

評価割合と配点

表-1 に示したとおり、これまでの配点割合（図-1 参照）を考慮の上、各項目の配点を設けました。

表-1 評価項目

項目	割合(%)*	配点
I 生活環境の評価	26.1	30
II 周辺環境の評価	26.1	30
III 安全性の評価	11.8	10
IV 経済性の評価	22.9	20
V 社会的要因の評価	13.1	10
計	100.0	100

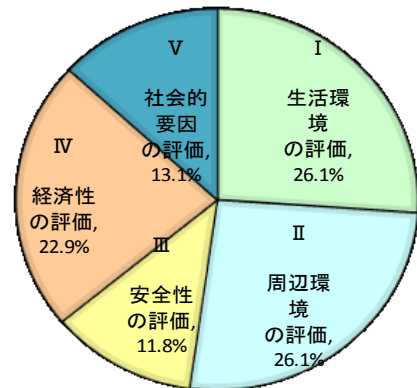


図-1 これまでの委員会で検討された配点割合

3. 最終候補地選出結果

3つの候補地（山田地区、横川地区、南境地区）の各評価項目について、各委員が評価した5段階評価を集計して平均を求め、配点割合を乗じたところ図2に示すとおり、順位は（1位）南境地区 68.4点、（2位）横川地区 61.1点、（3位）山田地区 52.3点となりました。

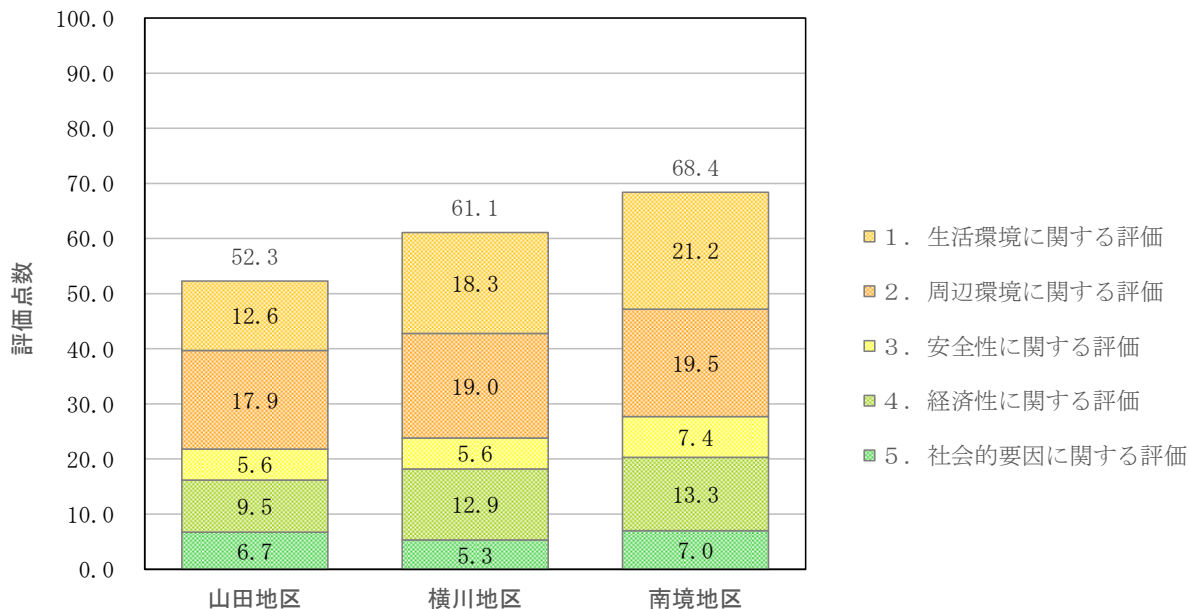
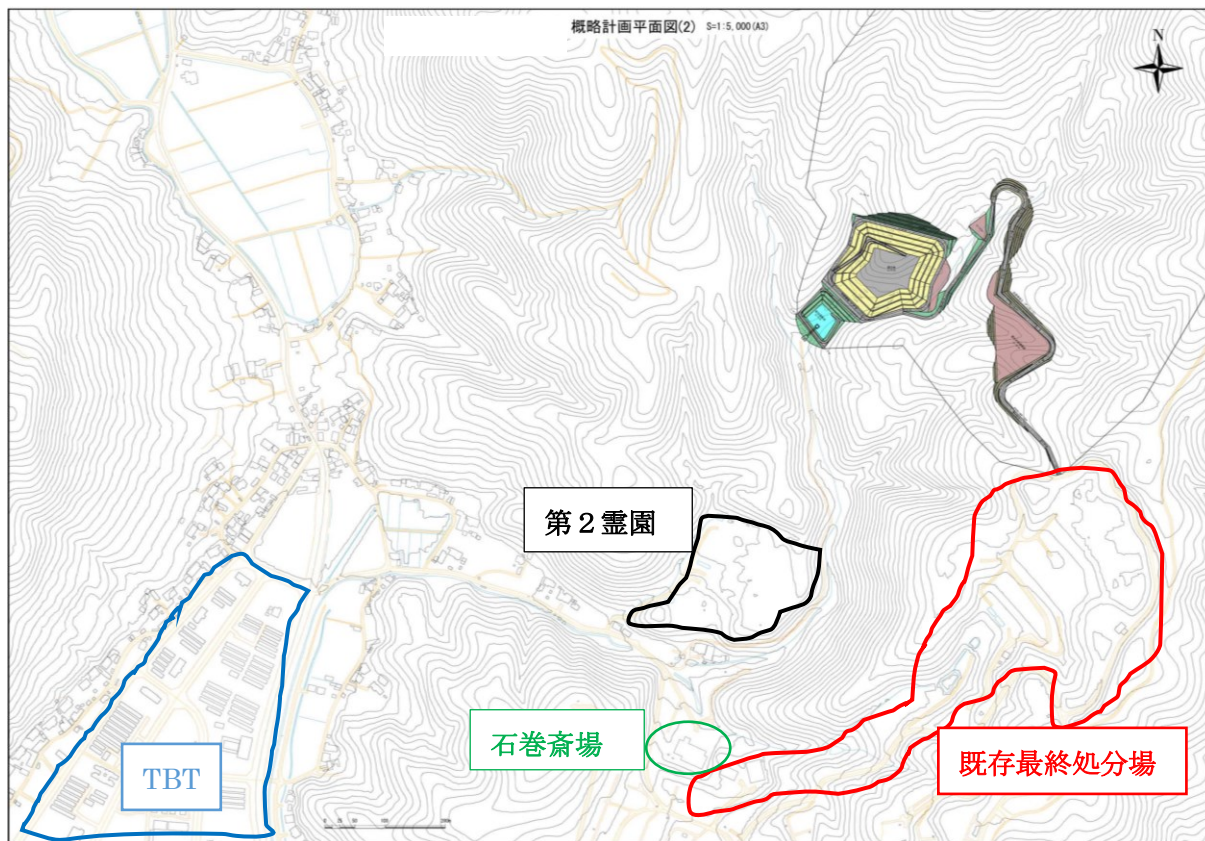


図2 候補地毎の配点に基づく評価点数の平均集計結果

◆建設候補地形状図：



南境地区概略平面図